



新型コロナウイルス感染症に対するレムデシビルの効果

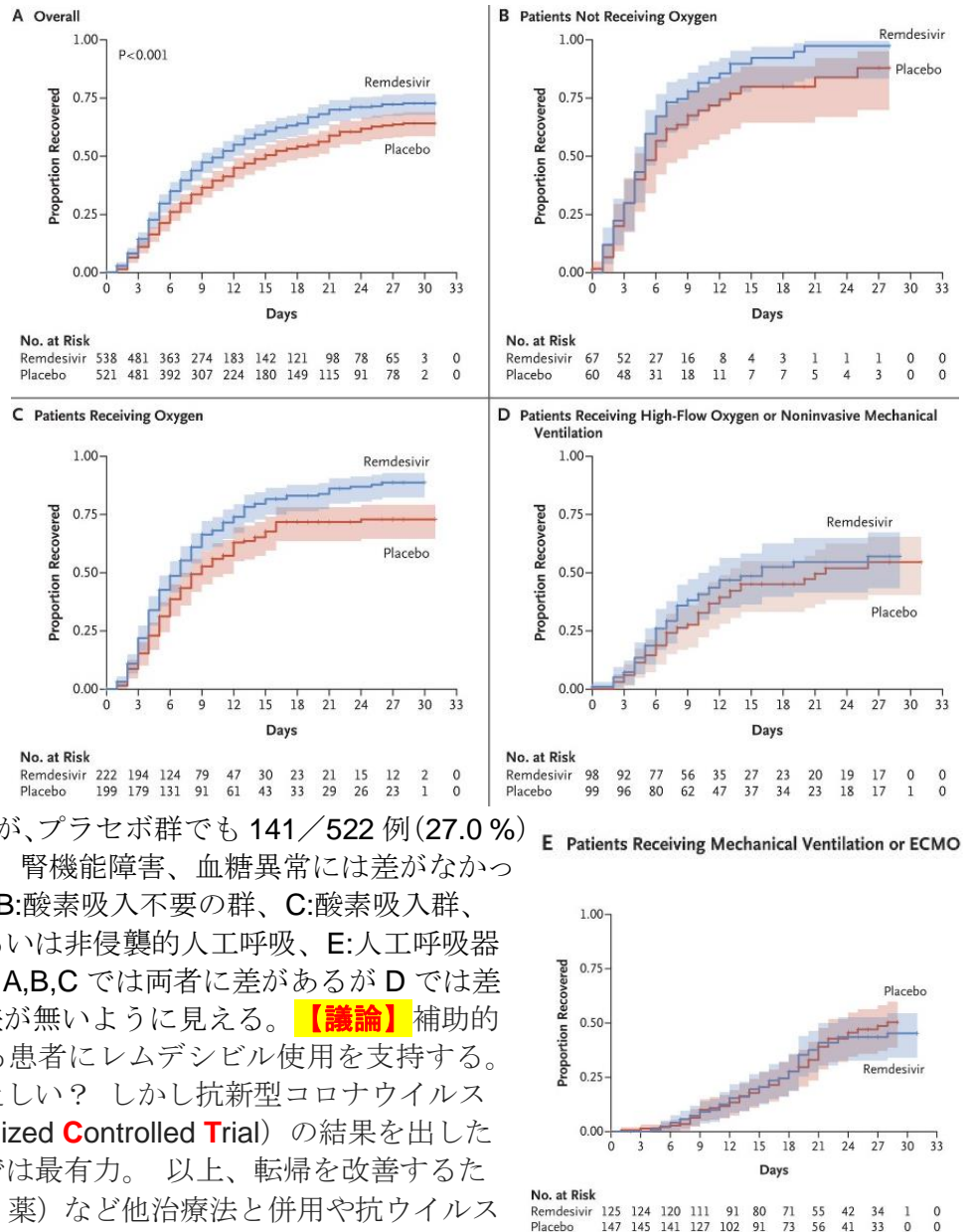
<https://l-hospitalier.github.io>

2020.6

感染対策の基礎知識

#244

【CoVID-19の治療薬】としてレムデシビルが武漢で使用され有効性が期待されたが、2020/5/22のNew England Journal of Medicineにpreliminary report^{*1}が掲載された。First authorはJH BeigelでNational Institute of Allergy and Infectious Diseaseの資金によるACTT-1 (Adaptive Covid-19 Treatment Trial Study Group 1)^{*2}に属する全米の医療機関が参加。【方法】プラセボを使ったランダム化二重盲検試験が成人の下部呼吸器症状を伴うCovid-19感染で入院した患者を対象に行われた。患者はランダムに1日目レムデシビル200mg静注、以後9日間100mg静注のグループと10日間のプラセボ投与群に割り当てられた。暫定的な判定基準は回復までの時間で、退院までの期間（感染制御のための入院を含む）と定義。【結果】1059名（538がレムデシビル、521がプラセボ）についての暫定結果はレムデシビルの中央値11日（95%信頼区間9~12日）に対しプラセボ群15日（同13~19日）。Kaplan-Meierの14日間の生存率推定ではレムデシビルの死亡率7.1%に対しプラセボ11.9%であった（死亡ハザード比は0.7、95%信頼区間0.47~1.04）。重篤な副作用はレムデシビルの114/541例（21.1%）に出現したが、プラセボ群でも141/522例（27.0%）であった。貧血、肝、腎機能障害、血糖異常には差がなかった。図はA:overall、B:酸素吸入不要の群、C:酸素吸入群、D:高流量の酸素、あるいは非侵襲的人工呼吸、E:人工呼吸器あるいはECMO群。A,B,Cでは両者に差があるがDでは差はわずかで、Eでは差が無いように見える。【議論】補助的酸素療法を必要とする患者にレムデシビル使用を支持する。重症例には有効性が乏しい？しかし抗新型コロナウイルス薬で、RCT (Randomized Controlled Trial) の結果を出した唯一の治療薬で現存では最有力。以上、転帰を改善するためアクテムラ（抗IL-6薬）など他治療法と併用や抗ウイルス剤の組み合わせか？製薬会社のギリアドからは5日間の使用でも有効性に差はなかったというデータも出た。しかし歴史上初めてその有効性が受け入れられた抗ウイルス剤は1974年開発の帯状疱疹に対するアシクロビル^{*3}で、その後のインフルに対するオセルタミビルの成功以外は抗AIDS薬などでも効果が確実に副作用の少ない抗ウイルス薬は多くはない。



^{*1} <https://www.nejm.org/doi/full/10.1056/NEJMoa2007764> ^{*2} Adaptive COVID-19 Treatment Trial (ACTT) ^{*3} パロエズエルカム社のGエリオンとJヒッチングスが1988年ノーベル賞